

## 編集後記・・・

■会誌十四号を無事発行出来て嬉しい限りです。重朝庵主は原稿提出一番乗の常連だったので、今年は何とも気が乗らないと筆が鈍く心配していました。しかし、結果的に例年のごとく大局的な内容のある文章を頂き感謝致しております。■最近認知症の方が近所で増え、対応に苦慮します。そこで市が委嘱している団体の「認知症見守りメイト講習講座」を受講しました。講師に、「医学的に認知症の方の特徴を『大きく叩けば大きく響き、小さく叩けば小さく響く』状態にあります。対応にはこの性質を理解して当たって下さい。所でこのような性質の方知っていますか」と聞かれ誰も答へませんでした。筆者が「西郷さんのことですか」と言つたその通りです。今まで多くの講義会場で、同じ事を質問しましたが、西郷さんの名前が出たのはあなただけですとのことでした。これを重朝さんの文章と重ね合わせて見ると、西郷理解の一面と現在社会の有様を垣間見たような気がしております。(中西)

■中西編集長に「炉ばたセイ談」十四号原稿募集のお知らせの葉書を五月一日に出して頂いた途端、五月初旬にはお一方から早速原稿を送って頂きまし

た。続いて、六月、七月と早々に送って頂き、順次編集を行い、著者の方に早い段階でお目通しして頂くことができ、編集がとてもスムーズに行きました。ありがとございました。だからというわけではありませんが、十四号は原稿を頂いた順に掲載させて頂きました。■今回も西郷隆盛関連のお話をたくさん寄せて頂きました。今年は明治維新百五十年という節目の年でもあります。小誌が、NHKの大河ドラマ「西郷どん」ブームを機に、西郷隆盛のこと、明治維新のこと、西南戦争のこと、あるいは日本の近代化のことなどについて熟考してみる際の一助になれば幸いです。(下十橋)

### 「炉ばたセイ談」 第14号

炉ばたセイ談会会長

澁谷繁樹

編集担当

中西喜彦・下土橋渡

事務局T895-11402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

TEL・FAX 0996-44-3586

印刷 新大同印刷株 (0996-30-1811)